

## 茶樹における放射性セシウムの動態解明と

### せん枝による放射性セシウム濃度低減効果

放射性セシウムの被ばくを受けた茶樹では、せん枝を実施することにより効果的な低減化を図ることができます。当所における調査では、せん枝の効果は被ばく後四年目まで継続しています。

#### ○新芽における放射性セシウム濃度

平成23年の一番茶葉で207Bq/kgでしたが、平成26年一番茶葉では、せん枝ありで2.5Bq/kg (1.2%)、せん枝なしで9.2Bq/kg (4.4%)まで減少しています(図1)。

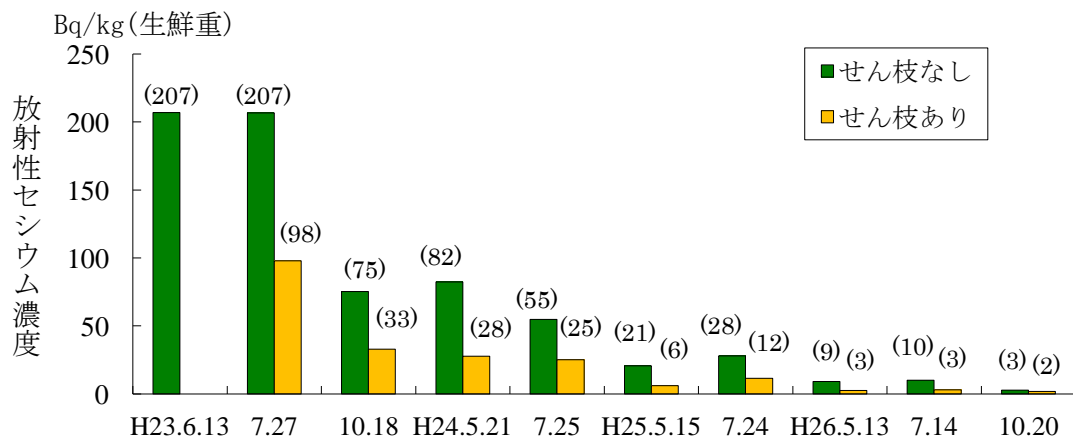


図1 新芽の放射性セシウム濃度 ( $^{134}\text{Cs} + ^{137}\text{Cs}$ ) の推移に及ぼすせん枝の影響

#### ○放射性セシウムの樹体部位別含有量の推移に及ぼすせん枝の影響

放射性セシウムの含有量は古葉、小枝、太枝部分に多く、せん枝を実施することで樹体の含有量を効果的に低減することができます(表1)。

表1 放射性セシウムの樹体部位別含有量

部位	平成23年6月13日 一番茶期(せん枝前) (Bq/樹)		平成23年7月27日 二番茶期 再生芽生育期 (Bq/樹)		平成23年10月18日 秋冬番茶期 (Bq/樹)		平成24年5月21日 一番茶期 (Bq/樹)		平成25年5月15日 一番茶期 (Bq/樹)		平成26年5月13日 一番茶期 (Bq/樹)	
	(無し)	(有り)	(無し)	(有り)	(無し)	(有り)	(無し)	(有り)	(無し)	(有り)	(無し)	(有り)
古葉	213.9	145.2			82.2	24.2	44.9	13.3	9.0	2.1	2.7	1.0
小枝	384.0	306.7			91.9		101.1	43.8	42.9	3.8	21.3	7.5
太枝	1601.3	665.5	209.9		850.8	115.7	196.4	89.8	210.9	56.4	95.2	47.8
幹	68.3	114.8	65.5		131.5	64.5	114.5	49.0	82.0	42.6	32.0	21.4
根	16.2	39.5	3.0		34.7	13.9	18.5	24.5	25.1	9.3	19.0	11.1
合計	2283.7(100)	1271.7 (56)	278.4(12)		1191.0(52)	218.3(9.6)	475.4(21)	220.4(9.7)	369.9(16)	114.2(5.0)	170.2(7.5)	88.8(3.9)

せん枝は平成23年6月14日に一番茶摘採面から20cm下方で実施しました。